

冷媒ガス「R22機器」を所有する皆様へ

**R22は2019年で
生産終了と
なります。**

**！ 早目の備蓄を
ご検討ください。**

2019年生産枠は大幅削減! (2016年の約1/3)
フロンガスメーカーからの供給量不足が予想されます。

生産枠削減による影響

- 価格上昇
- 容器不足による供給難
- 機器メンテナンス現場への対応遅れ
- 特需・災害などへの対応(供給)不足
- 駆け込み需要による更なる供給難など…

容器準備も万全に!



備蓄には容器も必要不可欠。
備蓄用ポンベは製造に約3ヶ月。
(R22充填後、引き渡しには約5ヶ月を
要します。)
20kg・100kg容器を用途に応じて
提案をさせていただきます。



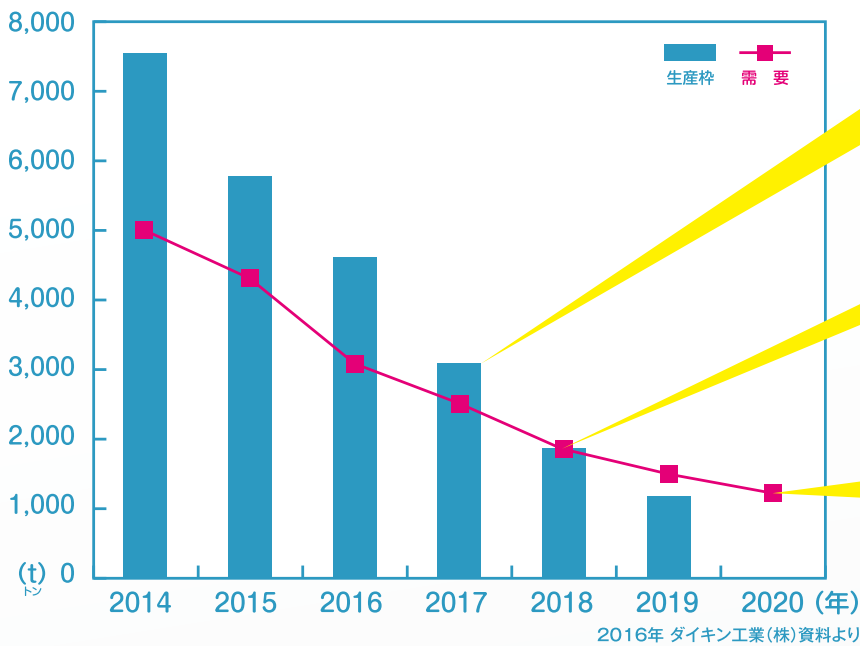
**R22(容器セット)の計画的な
早期お買い求めをお勧め致します!**

R22の全廃とその対応

オゾン層破壊物質であるHCFC22(冷媒用)は
**2019年12月31日をもって
生産・輸入が全廃
となります。**

生産枠に
余裕がある
**今が
チャンス!**

3tまでは
**届出なしで
備蓄OK!**
(高圧ガス保安法)



生産枠は毎年12月に決定。
ここでは平均的な削減で推定。
さらに少なくなる可能性があります。

入手困難になる
懸念があります。

生産全廃2020年
以降でも相当な需要が
残ると見られます。



R22使用の

- 食品工場の冷凍・冷蔵設備
- スーパー・多店舗の冷蔵設備
- 工場関連の空調設備
- その他 冷凍・冷蔵倉庫 など

2020年に 向けての 対策が必要

- ①全廃までにR22冷凍空調機器を別の冷媒(新冷媒)を使った機器に更新する。
- ②(暫定的に)補充用としてR22再生品を使用する。

早期備蓄をお考えの方は、お気軽に下記へご相談下さい。

【お問い合わせ先】